

高职高专日语教材

中级日语阅读

1

总主编◎聂中华
主 编◎王 欣
副主编◎吴毓华

华东理工大学出版社

高职高专日语教材

中级日语阅读

总主编 聂中华

第一册

主 编 王 欣

副主编 吴毓华

华东理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

中级日语阅读/聂中华等编著. —上海: 华东理工大学出版社,
2008. 12

ISBN 978-7-5628-2343-8

I. 日… II. 聂… III. 日语-阅读-高等学校-教学 IV. H363

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 090874 号

中级日语阅读(第一册)(含 MP3 光盘)

编 著 / 聂中华

策划编辑 / 陈勤

责任编辑 / 常海霞

责任校对 / 华校

封面设计 / 戚亮轩

插 图 / 周洁

出版发行 / 华东理工大学出版社

地址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电话: (021) 64250306 (营销部)

(021) 64252717 (编辑部)

传真: (021) 64252707

网址: www.hdlgpress.com.cn

印 刷 / 江苏句容市排印厂

开 本 787/mm×1092mm 1/16

印 张 / 20

字 数 / 585 千字

版 次 / 2008 年 12 月第 1 版

印 次 / 2008 年 12 月第 1 次

印 数 / 1—8050 册

书 号 / ISBN 978-7-5628-2343-8/H. 363

定 价 / 38.00 元

(本书如有印装质量问题, 请到出版社营销部调换)

前 言

读书要重视自己的第一印象。有感悟力、有感觉的人，第一印象是鲜活的，抓住新鲜的思想萌芽，上下求索，推演出一个新的见解。读书要首先不淹没自己，然后才能挺直腰杆与五花八门的思潮进行创造性的对话。切不要被一些现存成见和空泛术语套住。

朱熹讲读书要做到“三到”：心到、眼到、口到。三到中最重要的是心要到，用心灵的眼睛来读书。最要用心灵的眼睛来读的，是经典。经典是文化智慧的集合，包含着最耐人寻味的文化血脉在里面。经典可以用权威的知识来使你感受到文化的根在哪儿。少年多读名篇，青年读大书经典，中年多读专业书，晚年读点杂书。少年记忆力好，对历代名篇多加记诵，可以终生受益。年轻时读一点大书，大书有大书的气象效力，这是那些装模作样、卖乖取巧的小家子气无法比拟的。朱自清说过在中等以上教育里，经典训练是一个必要的项目。经典训练的价值不在实用，而在文化。有一位外国教授说阅读经典的作用就是叫人见识经典一番：见识什么叫做经典，对一个人的文化素质的根基，至关重要。

阅读经典要求我们让心脱离喧嚣剥离浮躁，空灵静寂。踏踏实实地认真拜读凝神思考，以智慧读书，在书中读出智慧。

本书基于以上考虑，选编了一些包含人生哲理的文章，希望让读者读有所思，读有所获。

编著者

2008年8月于浙江工商大学

目次

第一課	今日一日を大切にすること.....	1
第二課	誰にでもある、人に好かれた.....	9
第三課	外向型・内向型の長所と短所.....	17
第四課	数字が人生のすべてではない.....	27
第五課	後悔しない人生.....	36
第六課	頭だけでなく、身体ごと理解しなさい.....	47
第七課	人間の問題をなぜ追究しないのか？.....	58
第八課	ハードな仕事が心を洗濯してくれる.....	65
第九課	クヨクヨ病をひと休みしてみたら.....	78
第十課	心配事で悩むのも“人生の糧”.....	88
第十一課	何が起こるか分からないのが人生.....	100
第十二課	心配はしても、心痛はするな.....	110
第十三課	人を騙すのが利口な生き方か.....	116
第十四課	“竹の心”に学べ.....	127
第十五課	自ら負けを認めたときが、本当に負けた.....	137
第十六課	売ろう、売ろうと思うから売れない.....	150
第十七課	ユーモアがない.....	160
第十八課	率直でない.....	166
第十九課	しゃべるのが苦手.....	172
第二十課	浮気癖がある.....	178
第二十一課	よく忘れ物をする.....	184

第二十二課	形式的なことを忌み嫌う	190
第二十三課	縁起をかついでしまう	196
第二十四課	いつまでも成長しない	202
第二十五課	何でも自分が悪いと思ってしまう	208
第二十六課	なんでも人に合わせてしまう	213
第二十七課	死にたいと思う	220
第二十八課	リストラの対象にされている	226
第二十九課	尊敬できる人がいない	232
第三十 課	心にもないことを言ってしまう	238
第三十一課	独り言が多い	244
第三十二課	あきらめが悪い	250
第三十三課	言ってはいけないことを言ってしまう	256
第三十四課	不眠症で悩んでいる	262
第三十五課	本当に大切にするもの	271

第一課 今日一日を大切にすること

(一)

人は生まれたときからすでに死に向って歩いているのです。

そう考えると今私たちが必死になっていることは、すべて、人生における一里塚でしかないのです。

それならば、長い夜をぐつぐつと眠り、楽しい夢を見たいと思いませんか。

時を忘れて、しばしこもればの中で命の息吹に身をまかせてみませんか。

でも、これは簡単なようで、とても難しいのです。

これを現実するために必要なのは、今日一日を大切にすることかもしれません。今あるものを大事にするのです。

今を大事にするということは、あるものを捨てなければつかめないのです。例えば両手にたくさん食べ物を抱えながら「あのブドウも欲しい」と求めても、抱えている何かを代わりに捨てなければそのブドウは取れないのです。

ほとんどの人は、ここで抱えている何かを捨てることができず、「どうしよう、どうしよう」と悩むのです。

自分を大事に前に進んでいくには、捨てる勇気が必要なのです。

見ないふりしてその場から逃げていたり、過去にいつまでも執着したりしていても、答えは見いだせないのです。

ときには、とことんどん底に落ちてもいいからやり直してみよう、という強い決意と意志が大事なのです。ときには過去の栄光も足跡も捨てなければならぬということでもあるのです。

そうした決意から新たなる今という時間を、刻みつけていくことができるのです。

いま「今」をせい**い**っぱい**い**に生きるために**なに**かを**す**捨てる。

难词注解:

一里塚: 里程碑

こもれび: (木漏れ日) 从树叶空隙照进来的阳光

とことん: 最后, 到底

どん底: 最下层, 最穷困的状态

刻みつける: 刻上; 铭刻(于心)

精美译文:

珍惜今天

每个人自打一出生, 就已经开始迈向死亡了。

这样一想, 我们的拼死拼活, 一切其实都只不过是人生中的过客而已。

既是如此, 难道你不想在漫漫长夜酣然入睡, 享受美梦吗?

难道不想忘记时间流逝, 偷得半日闲暇而沉浸在阳光之下吗?

但是, 这看似简单, 实则很难。

要想实现这点, 可能有必要珍惜今天这一天。要珍惜现在拥有的一切。

要想珍惜现在, 不舍弃一些东西是做不到的。比如, 两手抱着满满的食物, 却说“还想要那串葡萄”, 可如果不舍弃手里的什么东西的话, 是不可能得到那串葡萄的。

绝大多数的人在这时不能舍弃手里的东西, 只会说“怎么办, 怎么办”而苦恼不堪。

装作看不见而逃开, 或者总是固守过去, 是不会找到答案的。

即使最后一贫如洗也没关系, 重要的是要有重新再来的决心和意志。有时候必须

舍弃过去的荣耀和成就。

有了这样的决心，就能够铭记崭新的现在这一瞬间了。

为了尽情享受“现在”，要学会舍弃。

(二)

ふと、「もう一度生まれ変わったら」と考^{かんが}えるときがあります。

それは現^{げんじつ}実^じがあまりにも過^か酷^{こく}で辛^{つら}いときです。

そんなとき、つい、今^{いま}の自分^{じぶん}ではない自分^{じぶん}を空^{くう}想^{そう}してしまうものです。

例^{たと}えば、今^{こんど}度^ど生まれ変わ^かわったらも^もっと美人^{びじん}になり、女^{じょ}王^{おう}様^{さま}のようにみんなを
か^{かん}し^ぼずか^かせて^てみ^みたい^{たい}という願^{がん}望^{ぼう}。

また、人^{ひと}に裏^{うら}切^ぎられたり、蔑^{さげす}まれると、辛^{つら}い気^き持^もちは復^{ふく}讐^{しゅう}心^{しん}に^か変^へわり、
「大^{おお}金^{かね}持^もちにな^なって見^み返^{かえ}したい」など^{など}と考^{かんが}えること^{こと}で不^ふ満^{まん}を吐^はき出^だします。

こ^こつ^つに^にく^く あ^あら^らそ^そ み^みに^にく^く さ^さか^から「家^か族^{ぞく}が^がい^いない家^か庭^{てい}で過^すご^ごしたい」と、ふ^ふと^と思^{おも}う
こ^こと^とが^があ^あり^りま^ます。

こ^こう^うした^た非^ひ現^{げん}実^じ的^{てき}な^なこ^こと^とを^を考^{かんが}える^るの^のは、そ^それ^れだ^だけ^け今^{いま}が^が苦^{くる}しく^く辛^{つら}い^いこ^こき^きで
す。つ^つま^まり^り相^{そう}当^{とう}無^む理^りを^をし^して^てい^いる^るの^ので^です。

ど^どん^んな^なに^に空^{くう}想^{そう}の^の世^せ界^{かい}で^で心^{こころ}を^を休^{やす}ま^ませ^せよ^よう^うと^とし^して^ても、現^{げん}実^{じつ}は^は変^かえ^える^るこ^こと^とが^がで
き^きま^ませ^せん。や^やが^がて^て身^み動^{どう}き^きで^でき^きな^なく^くな^なて、地^じ獄^{ごく}の^のよ^よう^うに^に思^{おも}う^うこ^こと^とが^があ^あり^りま^ます。

そ^そん^んな^な地^じ獄^{ごく}か^から^ら脱^{だつ}出^{しゅつ}す^する^る一^{ひと}つ^つが^が、捨^すて^てる^るこ^こと^とで^です。つ^つま^まり^り裸^{はだか}に^にな^なる^るこ^こと^と
で^です。

最^{さい}近^{きん}ふ^ふと^と考^{かんが}える^るの^ので^です。「気^き持^もち^ちい^いい!」「お^おい^いし^しい^い!」と^と心^{こころ}か^から^ら言^いえ^える
毎^{まい}日^{にち}が^が送^{おく}れ^れた^たと^とし^したら^ら何^{なに}も^もい^いら^らない^いの^ので^でない^いか^かと。

お^{かね}金^{かね}が^があ^あれ^れば^ば大^{たい}概^{がい}の^のも^もの^のは^は買^かう^うこ^こと^とは^はで^でき^きま^ます。と^とき^きに^には^は健^{けん}康^{こう}も^も買^かえ^える^るこ^こと^と
が^があ^あり^りま^ます。で^でも「お^おい^いし^しい^い!」と^と感^{かん}じ^じる^る能^の力^{りき}は^はお^{かね}金^{かね}で^では^は買^かえ^えま^ませ^せん。

こ^こう^うして^て考^{かんが}える^ると、私^{わたし}た^たち^ちは^は何^{なに}を^を目^{もく}的^{てき}に^に毎^{まい}日^{にち}生^{せい}き^きて^てい^いる^るの^ので^でし^しょう^うか。
出^{しゅつ}世^せす^する^るこ^こと^と?エ^えリ^りー^ート^とと^と思^{おも}わ^われる^る生^いき^{かた}方^{けんりよく}?権^{けん}力^{りき}を^をも^もつ^つこ^こと^と?お^{かね}金^{かね}を^を
た^ため^める^るこ^こと^と?い^いい^い人^{ひと}と^と結^{けつ}婚^{こん}す^する^るこ^こと^と?復^{ふく}讐^{しゅう}す^する^るこ^こと^と?闘^{たたか}う^うこ^こと^と?

そ^それ^れぞ^ぞれ^れが^が生^いきて^てき^きた^た中^{なか}で^でそ^それ^れぞ^ぞれ^れの^の世^せ界^{かい}観^{かん}か^から^ら考^{かんが}え^えた^た目^{もく}的^{てき}に^に向^{むか}っ^てて、
あ^あゆ^ゆん^んで^でい^いる^るの^ので^でない^いで^でし^しょう^うか。

难词注解：

かしづく：服侍，伺候；照顾；辅佐

蔑む：轻蔑，瞧不起

見返す：（受了侮辱或轻视后）争气

精美译文：

幸福来自敢于舍弃的勇气

有时忽然会想“要是能够转世再生的话该多好”。

那是当现实过于残酷而辛酸的时刻。

那种时候，不由自主地会产生如果不是现在的自己的空想。

比如，希望下次投胎成为美女，像女王一样被人服侍。

或者遭到背叛，被轻视时，难过的心情转变为复仇心，想着“走着瞧，等我变成有钱人”，以此来发泄不满。

看到骨肉相争的丑态，会引发出“真想生活在没有家人的家庭里”的想法。

这种非现实的想法正是发生在现实非常痛苦难过的时候。也就是难以忍耐的时候。

不管怎样地沉浸在空想的世界里，现实都是无法改变的。不久就会感到如同地狱般越陷越深直至无法动弹。

从地狱脱身出来的一个办法就是勇于舍弃。也就是彻底抛弃一切。

最近偶生一念。如果每天能从心底发出“好舒服啊！”“真香啊！”的感叹，那人生就别无所求了。

有钱的话，能买到几乎所有的东西。有时甚至也能买到健康。但是，用钱买不到感受“真香啊！”的能力。

这样一想，我们每天不正是为了什么目的而活着的吗？

是为了出人头地？是为了被称为精英？是为了拥有权力？是为了积攒钱财？是为了和理想的对象结婚？是为了复仇？还是为了斗争？

在人生道路上，每个人都是本着各自的世界观，朝着自己既定的目标迈进的吧。

(三)

わたしたちは、新年になると決まって、「今年こそは」と新たな決意に燃えます。今よりもっと幸せになりたいという願望が、そうさせるのではないでしょう。

しかし、その意識込みも、数日過ぎると、泡のように消えてしまいます。

それは「さあ、今年こそはやるぞ」という意気込みだけが先行し、結果がなかなかついてこないからです。

現実の厳しさが、意気込みを萎えさせてしまうのです。こうして私たちは、毎年同じことを繰り返しながら年をとっていくのではないのでしょうか。

一方で、毎年、一歩ずつ先に進んでいく人がいます。

そんな人と、同じところを何回もぐるぐると回っている人との違いは、一体なんなのでしょう。

それは自分の「目的」をきちんともっているかどうかです。

先に進んでいる人は、自分の目的がわかっているのです。

とはいえ、わかっていると思うようにいかないのが人生です。大事なのは、予想と異なる結果が出ても、すぐに失敗だと判断しないことです。

失敗と思える経験が成功への道につながるのです。一歩ずつ先に進んでいく人は、失敗を無駄にせず、その先の人生への足がかりにしているのです。

なにごととも時間をおかなくては、本当の意味では「成功」「不成功」「幸せ」「不幸せ」はわからないのです。

例えば、失恋したとします。そんなとき、人は無意識のうちに、辛さを乗り越えようとします。お酒を飲んで忘れようとしたり、好きなものを食べて憂さを晴らしたりします。

「私は絶対に生まれ変わって素敵な人になる」と、美しくなることで相手を見返そうという前向きに考える人もいます。

人はそれぞれの考えで、そのときそのときを乗り越えていくのです。そして、

その「^{もくてき}目的」が^{ぐたいてき}具体的であればあるほど、人は^{ひと}ひと^{どりよく}努力をします。

难词注解：

あしがかり：线索、开端

精美译文：

成功之路

每到新年，我们都会燃起新的斗志：“今年可要……”。想必这是“一定要比现在更幸福”这种愿望作用的结果吧？

然而，数日过后，这般意志便化为泡影。

那是因为光有劲头：“哎，今年可要大干一番啦”，实际行动却怎么也跟不上的缘故。

严峻的现实消磨了人的意志。我们不正是这样年复一年地老去吗？

另外，有些人每年都在一步步向前迈进。

他们和那些徘徊于同一个地方的人，究竟有什么不同？

不同点就在于他是否拥有明确的目标。

向前迈进的人清楚自己的目标。

然而，即便清楚也不一定能得偿所愿，这便是人生。重要的是即使结果出人意料，也不要轻言失败。

失败的经历通往成功之路。一步步向前迈进的人，不会浪费失败，而是把它当作前车之鉴。

无论做任何事情，要是不花点时间，就没法理解“成功”、“不成功”、“幸福”、“不幸”的真正含义。

比如失恋，此时，人会在无意识中想要摆脱这痛苦。亦或借酒消愁，亦或品尝佳

肴以驱散阴郁。

也有积极乐观的人，说“我一定要改头换面，成为一个非常棒的人”，通过完美自己加以还击。

人们用不同的方式来克服不同的时期。而且，“目标”越具体，人就会越努力。

第二課 誰にでもある、人に好かれたたい

(一)

人間には、色欲・財欲・名誉欲・睡眠欲・食欲の五欲があると
仏教は教える。しかし私は、人間には欠くことのできない重要な欲が
もうひとつあると思うのだ。すなわち好ましい人間関係をつくりたい、維持
したいという欲である。関係欲と私は呼びたい。

誰でも人間関係をよくしたいと考えているはずだが、皮肉なことに
神経をすり減らし、心労を重ねるのも人間関係である。信頼できる人
を求めていろいろ試みるが、誠意を尽くしても報いられなかったり、逆に
思いもよらない仕打ちを受けることもある。だから初めから期待せず、一線を
画して人とつき合ったり、人との交際は自分是不向きだとあきらめたくなる
ことも多いものだ。

他人を自分に同調させようなどと望むのは、そもそも馬鹿げた話だよ。
私は、そんなことをした覚えはない。私は、人間というものを、自立的な
個人としてのみ、いつも見てきた。そういう個人を探究し、その独自性を知ろ
うと努力してきたが、それ以外の同情を彼らから得ようなどとは、まるっ
きり望んでもみなかった。

『ゲーテとの対話』(エッカーマン著 山下肇訳/岩波書店刊)の中に出てくる
ゲーテの言葉である。彼は、人間はみな違った存在だから、自分に合わせ
てくれという期待をいっさい相手に抱いたことがないと断言している。常に
理性をもって、相手を一個の人間と観察すれば充分だと語っている。な
るほど個人主義の観念が発達したヨーロッパ人と、相互にもたれあって生き
てきた日本人との違いであろうか。それにしても私自身「ゲーテさん、少し

いい^{かつこう}恰好しすぎやしませんか、そうあっさりいくものでしょうか」と一言^{ひとこと}申しあげたくなる。

わたしは『徒然草』^{だいにじゅうにだん}第十二段の吉田兼好^{よしだけんこう}の言葉^{ことば}を思い出^{おも}す。

「^{こころ}心をひとしくする人^{ひと}と、しんみりと話^{はな}し合^あって、興^{きょうみ}味あることであれ、この世^よのはかなさについて、^{こころ}心おきなく語^{かた}って心^{こころ}を慰^{なぐさ}めるなどということがあれば、このうえなくうれしいことであろう。しかし、^{げんじつ}現実にそんな人^{ひと}があるはずもなく、相手の^{あいて}話^{はなし}とちぐはぐにならぬように^き気をつかいつつ^{たいざ}対座することになる。そんな時^{とき}には、ひとりでいるような^{さび}寂しさにおそわれるだろう。」

この段は、兼好^{だん}が心^{かねよし}の友^{こころ}への飢餓感^{とも}を告白^{きがかん}したものと^{こくはく}言われている。むろん、封建時代^{ほうけんじだい}のことだから、人間関係^{にんげんかんけい}の上下^{じょうげ}が身分^{みぶん}や出自^{しゅつじ}によってきちんと決^きめられており、対等^{たいとう}な人間関係^{にんげんかんけい}はほとんど不可能^{ふかのう}であったことだろう。しかし人間^{にんげん}はそういう障^{しょう}害^{がい}があっても、やはり心^{こころ}の通^{かよ}い合^あう人間^{にんげん}を希求^{ききゅう}するものだ。逆^{ぎやく}にその思^{おも}いがいつそう強^{つよ}くなるのではないだろうか。わたしは兼好^{かねよし}が心^{こころ}の友^{とも}を求めながらも、「この人^{ひと}にこんなことを言^いったら、悪^{わる}く思^{おも}われないだろうか」「あの人の意見^{ひと いけん}に同調^{どうちよう}しなかったら嫌^{きら}われるのではないか」と相当^{そうとう}気をつかつてきた人^{ひと}だと想像^{そうぞう}する。『徒然草』の他の段^{だん}と比べて、この段^{だん}がひどく歯切れ^{はぎ}が悪^{わる}く感^{かん}じられるのを見ても、兼好^{かねよし}はゲーテと異^{こと}なり、相手の好意^{あいて こうい}を期待^{きたい}する気持^{きもち}ちを捨^すてきれなかったに違^{ちが}いないと思^{おも}う。

难词注解：

恰好（かつこう）をつける：敷衍局面；使……过得去。

神経をすり減らす（しんけい・〜）：劳神

心劳（しんろう）：操劳、操心

诚意を尽くす（せい い・つ）：竭尽诚恳